



## ごみを削減することで得られる効果②

いらなくなった物は、ごみとして目の前からなくなればいいと思っていませんか？ごみを適正に処理するためには、多額の費用が必要で、その大部分は皆さんの税金で賄われています。

今回は、家庭ごみのうち分別などで削減可能なごみ約6740トン減らすと、処理費用がどのくらい削減できるかを、考えてみましょう。

表1 ごみ処理にかかる経費

項目	収集経費	清掃工場運転・維持管理経費	最終処分経費	合計
処理経費	約2億3,300万円	約7億6,400万円	約1億1,500万円	約11億1,200万円
1人当たりの経費	約2,900円	約9,600円	約1,500円	約14,000円

表2 削減可能なごみ

ごみ種別	削減できる割合	重量
生ごみ・レジ袋	23.5%	約4,040トン
紙類などの資源物	16.0%	約2,700トン
合計	39.5%	約6,740トン

理しきれず、2炉運転にしなければなりません。2炉運転になることにより、電気やガスなど工場の運転経費や整備費の増加、さらに収集・最終処分経費の増加が見込まれます。

### ☆ごみを減らすと約2億5000万円節減

家庭から排出される燃えるごみ約1万7200トンの40%に当たる約6740トンを削減可能と広報うしく7月号でお知らせしました(表2参照)。

ごみを削減するには、食料品を計画的に購入する、冷蔵庫の中身を確認する、食べ残しを減らす、徹底した分別を行う、買い物にはマイバックを持参するなど、私たちができる事を実行することがとても重要になります。これらの取り組みを実行すると、ごみ処理経

費のうち約2億5000万円もの経費削減が見込まれます。

### ☆ごみ処理に多額の経費を掛け続けてもいいの？

ごみ処理には、毎年約11億円もの多額の経費が掛かっているとお伝えしました。市では排出されたごみを焼却や破碎処理し適正な処分を行い、また資源の有効利用に努めています。しかし、そのほとんどのごみは焼却により灰になっていますが、その処理には毎年多額の経費を要しています。

ごみ処理経費のうち、削減可能なごみ約6740トンを削減するだけでも、約2億5000万円の経費を削減することができます。ただ灰にするためだけに多額の経費を掛け続けることが果たして本当に良いことでしょうか。

ごみを削減し、ごみ処理経費を節減することができれば、その経費を福祉や教育、道路など、ほかの行政サービスに有効活用することが可能となります。また、ごみ焼却量を減らすことにより温室効果ガスなどの削減にもつながります。真剣にごみを削減することを考え、実行に移しませんか。

問い合わせ 市廃棄物対策課 ☎内線1571~1573